

# 平成30年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

## 第4学年

教科	指導上の成果と課題の分析→	授業改善の具体的な方策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことの中心を明確にし、書きたいことを整理して文を書くことに課題がある。 【書くこと】</li> <li>・昨年度末の達成率は93%と高かった。しかし、読書活動に積極的に取り組む児童が多く、中心人物の心情の変化や、説明文での筆者の意図を読み取れる児童が多い。しかし、読書活動の取り組み方については、個人差は大きい。 【読むこと】</li> <li>・昨年度末の達成率は86%であった。既習漢字の定着については、個人差が大きい。言語感覚が豊かな児童が多く、様々な言葉について、自分から意味や由来などを調べている。 【言語事項】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組み立てメモを作り、それをもとに、中心となる内容や順序を整理して文章を書く活動を繰り返し取り入れる。</li> <li>・読書検定カードを活用しながら、読書に対する関心・意欲が持続し、さらに高まっていくよう支援していく。また、授業で扱った物語の作者の作品や教科書でおすすめされている本などを中心に、様々なジャンルの本を紹介する。</li> <li>・漢字の定着を図るため、定期的に小テストを行ったり、ドリル学習を計画的に行ったりしていく。また、既習の漢字は、普段の学習や宿題などの書く活動の時には必ず使うように徹底した指導を行う。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度末の達成率は70%と低かった。社会的事象の特色について自分の考えをもつことはできているが、調べたことや学んだことを自分の言葉でノートにまとめたり、伝えたりする力に課題がある。 【思考・判断・表現】</li> <li>・昨年度末の達成率は97%と高かった。しかし、焦点化された単純な資料の読み取りはできているが、情報量の多い資料から必要なことを読み取る力に課題がある。 【技能】</li> <li>・昨年度末の達成率は92%と高かった。しかし、単元で学習したことの詳細についての理解に課題がある。 【知識・理解】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で調べたこと、自分や友達の考えをノートにまとめて発表し合う学習を多く取り入れることで、思考力・表現力を高める。また、よい例を定期的に紹介することでさらにまとめる力を高める。</li> <li>・グラフや表、地図など資料ごとに異なる視点を明確に示し、資料の基本的な読み取り方を理解できるようにする。</li> <li>・単元の最後に、調べたことをノートや新聞などに細部までしっかりとまとめる時間を設ける。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度末の達成率は78%と低かった。問題解決の能力は高く、問題をよく理解して学習に取り組んでいる。しかし、根拠をもって筋道立てて考えたり、説明したりする力に課題がある。 【数学的な考え方】</li> <li>・昨年度末の達成率は96%と高かった。計算の技能は、よく定着している。しかし、図形分野については、分度器で正確に角度を測ったり、コンパスや三角定規を使って正確に作図したりする力には、個人差がある。 【技能】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数が表す意味を考えさせたり、数、式、図、言葉などを関連付けて自分の考えを説明したりする活動を意識的に設定していき、自分の考えを整理して筋道立てて説明する力を付けていく。また、友達の考えを読み取り、説明する活動を取り入れ、数学的な見方や考え方を養う。</li> <li>・習熟度別学習を効果的に活用して、個に応じた指導をしていく。それぞれの習熟度に適した問題を考え、設定していく。繰り返し習熟に取り組む時間や適用問題に取り組む時間を確保し、定着を図る。また、ICT機器を活用して図などの視覚的な資料を提示し、図形について理解できるようにする。</li> </ul>

<p style="text-align: center;"><b>理 科</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度末の達成率は94%と高かった。しかし、問題解決の学習の流れを理解し、見通しをもって学習を進めている。仮説や考察について、自分で考え、実験や観察から分かったことを表現し、まとめることに課題がある。 <span style="float: right;">【思考・表現】</span></li> <li>・昨年度末の達成率は79%と低かった。実験器具を用いる実験が増えてきたため、正しい使い方を正確に身に付けさせる必要がある。 <span style="float: right;">【技能】</span></li> <li>・昨年度末の達成率は96%と高かった。概ね定着しているが、詳細についての理解に課題がある。 <span style="float: right;">【知識・理解】</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察の結果のまとめ方について、表や図などの様々な表現方法を身に付けさせる。また、そこから考えられることや目に見えない事象について、言葉や図や絵などに表現して可視化していく力を付けさせる。</li> <li>・ICT機器等を活用し、確実に実験器具の使い方を理解できるようにする。また、全員が自分で実験をできるように、用具の準備を充実させる。</li> <li>・実験や観察の結果のまとめや考えたことを伝え合う活動を意識的に設定し、さらに知識を深めたり、広げたりできるようにする。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>体 育</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々で運動の特性を考えて活動する力は身に付いているが、グループでめあてを考え、それを達成するためにどのような工夫が必要かを話し合い、活動することに課題がある。 <span style="float: right;">【思考・判断】</span></li> <li>・体力テストの結果から、男女共に敏捷性（反復横跳び）は優れているが、柔軟性（長座体前屈）に課題がある。 <span style="float: right;">【技能】</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の学習計画を明確にし、児童が見通しをもって、チームで進んで学習に取り組めるようにしていく。学習カードをもとに、チームで作戦を立てたり振り返りをしたりする時間を確保し、全員で協力して楽しく学習を進められるようにする。</li> <li>・準備運動の中で柔軟運動を必ず取り入れ、柔軟性を身に付けられるようにする。また、器械運動、陸上運動などの授業の始めには体ほぐし運動を組み合わせる計画し、楽しみながら全身を動かす活動を取り入れる。また、ICT機器を用いて運動のポイントを押さえたり、自分の動きを客観的に見たりして、技能の向上につなげられるようにする。</li> </ul>